

組織の存在理由としての「使命」について

ここ数年来、世界的規模で異常気象による被害が生じています。植物の育ち方を見ていると、異変を感じて生き急いでいるように思えてなりません。人間社会も巨大な変化に直面し、様々な課題への対応を迫られています。最も困難な課題は、判断の根拠とすべき価値基準が揺らいでいることです。

とりわけ、バイオ・テクノロジーの発達は、インフォメーション・テクノロジーの発達と相俟って、従来の価値基準を根底から覆す可能性を孕んでいます。生命の意味、人間存在の根拠、家族から企業・国家まであらゆる組織の存在意義などが問い直されています。企業、組合、公益法人、教育機関、役所など既存の組織が有効に機能しなくなっていることは、マスコミに報道されているとおりです。

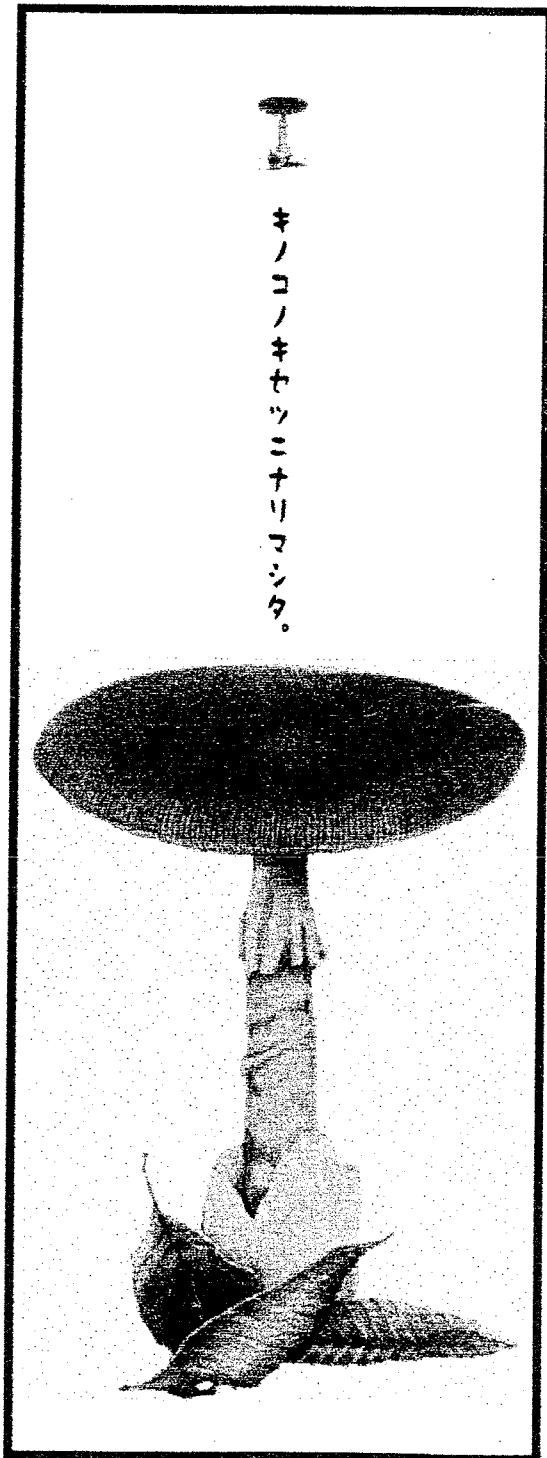
本来、組織には存在理由としての「使命」がなければなりません。この使命から、組織の活動目的、達成目標、活動計画、成果の評価方法などが導き出されるのです。既存組織の機能不全状態は、もともと使命が曖昧だったり、使命無き組織であったことに主な原因があります。なぜなら、組織の活力は組織を構成する個人の自発性を源泉としており、自発性は使命への共感から生まれるからです。

日本のNPO法人数は、今年度中に1万を超えるかも知れません。NPO活動をしている組織の全体数は何倍にもなっているでしょう。NPOだけが活力を維持し、発展しているように見えます。これは、NPOが原理的に使命を活動の出発点とせざるを得ないからです。しかし、使命への自覚が薄れてきたとき、NPOゆえの組織的弱さが一挙に表面化する危険性も高いのです。心したいものです。

せんだい・みやぎNPOセンター理事 川村 志厚

内 容

セミナー報告「CBを活かしたまちづくり」
はみだしエッセイ、部会報告、5周年案内
BOOK、事務局活動報告 ほか



● せんだい・みやぎNPOセンター 総会記念セミナー ●

コミュニティ・ビジネスを活かしたまちづくり

～地域循環をつくりだす市民の新しい挑戦～

日時：2002年9月8日（日）16時～17時30分

場所：宮城県民会館 6階 中会議室

この数年、コミュニティ・ビジネスを展開する事業体の一つとしてNPOが注目を集めている。地域の資源を活かし、課題を解決することで住みよい地域をつくるサービスや活動を行っているからだ。

今回は仙台市と白石市で事業を展開する2組織に、いかに地域の未来図を描き活動や事業を展開しているか伺った。多くのNPOや地域の参考に becoming お話を頂戴することができた。

乞うご期待を！

○ゲスト

千葉裕貴さん なかやま商店街振興組合 専務理事
(株)ビューティサロンフレンド 代表取締役
木村 孝さん 特定非営利活動法人不忘アザレア事務局長
木木屋旅館 代表取締役

○コメンテーター

川村志厚さん 経営デザイン研究所

○コーディネーター

紅邑晶子 当センター常務理事・事務局長

■ゲストに共通する成功の5大要素とは

川村志厚さん

今回のお二人のお話には、NPOにとっても参考になる要素がたくさんありました。そこで、お二人の活動を5つのポイントをまとめてみました。

1. 地域をよりよく変えたいという強い思いがある

地域に何人も「地域を良くしたい」という同じ思いを持つ人がいて、地域の中でのコミュニケーションがとれていたからこそ、事業や活動が広がったと言えるでしょう。これはコミュニティ・ビジネスが成功する上での基本となるインフラでもあります。

2. 動ける若さ（年齢ではなく）を持っている

仙台の商店街の中で活発な組織は限られています。その一つがなかやま商店街振興組合です。北環状線に大型店舗が立ち並ぶので普通ならだめになってしまっています。しかし、白石も中山も動き、実践する人たちがいるからこそ伸びているのです。これは、「本業の商売が順調で動けるゆとりがある人たちがいる」という側面もあります。

3. 経営資源の調達がうまい

何もないところからさまざまな資源を集めるのが上手ですね。捨ててあるのを拾う、もらう、作る、組み合わせる、ということを実践しています。また、

無い時にどうしたらいいのかを考える力があります。

4. 行政とのパートナーシップ

行政とうまく連携しています。行政の思考やフレームに合うような事業のプランを立てることに成功していると言えるでしょう。

5. 事業の結果・成果を地域に再投資している

白石市に2000万円を返す・寄付するというのはすごいことですね。両地域とも人々の雇用や環境、経済循環を考えいかに地域が良くなり循環するように実践しています。

コミュニティビジネスは、できると信じて実践することが活動としてとても大切です。その背景に、大きな構想を練っていることも必要です。

さまざまな規制が変わった緩和されたことで、全国ではじめての挑戦だったり、規制に風穴をあけるような事業のケースもあるでしょう。そんな時は、地域も事業体も、そして行政にとっても成果になるような事業の展開を考え実践することが必要です。

さまざまな要素を組み合わせながら、地域でのコミュニティビジネスにチャレンジしてください。

■活性化構想をもとに、地域事業を展開中

千葉裕貴さん なかやま商店街振興組合 専務理事

1. イベントで深めた地域との絆

中山地区は30年ほど前に生まれた新興住宅地であるが、入居当初から住民の間に「自分たちの暮らす新しい町を作ろう!」という意識が根強くあり、今でも町内会や学区民体育振興会などが盛んに活動している。これまでに私たちは「ロシア・クラシックバレエ野外公演」や「姫神野外コンサート」など、6000人以上が集まる大イベントを成功させてきたが、これも、住民による自主的な活動が地域に定着していたからこそできた試みだった。これまでに商店街は、こうした地域密着型イベントによって、地域の人々との絆をより深いものにしてきた。

2. 協働のまちづくり

中山商店街は、坂道に沿って店舗が並ぶ地理的特徴があり、これに適ったまちづくりを進めるため、行政や企業と協働で事業を進めて来た。例えば、車を歩道に安全に乗り上げられるための工夫や、ロードヒーティングの導入などはその顕著な事例である。色々な人

の知恵を借りることで、もっと地域は豊かになれる。他者との協働事業を行うときは、負担すべきことはまず自分たちで負担をし、その上で、相手の興味を引く内容の事業を提案することがコツになると思う。

3. 活性化構想と会愛お達者倶楽部

少子高齢化という状況を先取りし、将来的な地域活性化を見込んだ新規事業をまとめたのが「中山地区コミュニティ活性化構想」である。内容は、地域自らが事業主体となり、高齢化に対応した多様な事業遂行しようとするものだ。その一部として始まったのが「会愛お達者倶楽部」であり、これは高齢者を主な利用層として、将来にわたり地域の「交流拠点」として機能することを目指している。開所して間もないが、すでにパン屋さんとの協働でオリジナル商品が生まれ、運営は軌道に乗りつつある。壮大な計画と思われるかもしれないが、まちづくりを考える時はむしろ大きめの理想を描き、その実現に向かって努力した方が楽しく続けられる。

■市民の思いをスキー場経営に活かす

木村孝さん 特定非営利活動法人不忘アザレア 事務局長

1. なぜNPO法人がスキー場を?

わたしたちは、白石市から委託された白石スキー場の管理・運営と、不忘山周辺の環境保全を事業の柱とするNPOだ。白石スキー場は元々民間会社が経営していたが、その会社が事業から撤退。3セクも企業も引き受け手がない中、地域住民が立ち上がり、市民のスキー場存続と、周辺酪農家の冬季就業確保を目的に、このNPOを立ち上げた。私たちは、行政にも企業にもできないNPO独自の視点でこの事業が発展していくことを目指している。全ての市民の人に「スキー場が残って欲しい」と思える土壌づくりをどうやって進めていくのか。こういうことをまず考え、エゴと呼ばれる要素を徹底的に排除しながら、市民の思いで運営の形が完結するスキー場を作り出したい。

2. 利用者、行政との関係

NPOとしてスキー場を運営していく場合、利用者からの声が非常に重要なものとなる。寄せられたアンケート内容は多岐にわたるが、妥当な意見に対しては

1週間で改善がなされる体制を作っている。またその一方で、設備投資の必要性から行政との協働も必要不可欠な要件だ。幸い、白石市は私たちを事業の対等なパートナーとして信頼している。無論、活動報告は行うが、それ以上に組織・事業運営に意見を出すことはない。だが、今後も毎年収益が上がった場合、その収益を一般企業の収益と同一視し、設備投資に回すことを求められると、われわれの経営状況は一転してしまう。そこはしっかりと考えていきたい。

3. 運営の課題と今後の展望

これまで企業社会で働いてきた職員に、スキー場存続と環境保全というプライドのために仕事をするのだ、と理解してもらうには時間がかかった。しかし、今では意思決定の方法や提案の仕方などを工夫し、事業の方向性にあった組織作りが進んでいる。こうして培った組織運営のノウハウは、今後、同じように事業を興そうとしている人たちに提供して、役立てていきたいと考えている。

BENYのはみ出しエッセイ ◆らくだのブクブク◆ vol.1

せんだい・みやぎNPOセンター常務理事・事務局長 紅邑 晶子

■監査の人は、
数字と印鑑から推理をする達人

今年は、監査の当たり年だった。監査という言葉
を聞くだけでも、かなりドキドキさせられる。
その監査が、3回もあった。監査を受けた対象事
業は、350万円から500万円のもの。初めて
の外部会計監査体験。監査のポイントは、事業に
おける適切な資金管理が行なわれていたか。その
証拠となる書類の確認など。

わたしたちは、まず第1にどれ
だけの成果をこの事業で上げるこ
とが出来たかという事を伝えた。
が、やはり肝心なところは、領収
書である。これが全てを物語って
いる。日付、金額、領収先。監査
の人は、数字と印鑑から推理をす
る。質問を受けるたび、あちらの
書類をひっくり返し、関連書類を
捜しに、事務所内を走った。大き
な問題はなかったが、見なおしを
必要とすることなどいくつか、改善すべき点を指
摘され、結果的には、わたしたちの組織の資金管
理そのものを客観的に見なおす機会になった。当
センターでは、年に1度、総会前に当センターの
監事から監査を受けてはいるけれど、このような
監査も組織の外部評価と捉えれば、いいチャン
スかもしれないと思った。(ちょっと、負け惜しみも
入っています。)



■NPOと自分の関わりの
天秤 (バランス)

先日、当センターではNPOで働くことについて
話し合った。NPOに有給スタッフが存在するよう
になったのは、ついこのごろ。だから、このよう

な話はNPOセクター内でもあまり話す機会がな
い。(だって、NPO法人が誕生してから、まだ5
年だ!) そもそも企業や行政のように社会基盤も
組織基盤も整っていないため、日本中のNPOで年
収300万円以上の有給スタッフはそう多くはな
い。でも、NPOでの仕事はいっぱいあって、給料
に見あった分だけしか仕事をしないということに
なると、たちまち組織はつぶれるだろう。

10人以上の有給スタッフを抱えるようになる
と、就業規則を定めなければいけない。当センタ
ーでも就業規則を考えた。そのとき、「従業員の働
く権利を守ろうとするほどサラリ
ーマン化していくことになり、
NPOで働くことと企業で働くこ
との違いが薄れる感覚を味わっ
た」と、就業規則の検討をしたス
タッフが話していた。

なるほど、確かにわたしは企業
で仕事をするように仕事をした対
価としてサラリー (給料) をもら
うというよりも、せんだい・みや
ぎNPOセンターでなければできない仕事をしたく
て、仕事をしている。その結果、給料をもらって
いるという感じだ。だから、仕事量と給料は、企
業や行政と比べるとダントツに時給単価が低い。
でも、クリエイティブな仕事ができるという点で
は、ダントツに高い。これが、いまわたしがここ
にいる最大の理由である。

わたしは天秤座だ。NPOに関わることは、有給
無給に関わらず、個人と組織との関わりのバラン
ス加減だと思う。これには個人差がある。バラン
スが取れなくなったときは、勇気を持って関わり
方の見直しをするということも必要かもしれない。
ここで仕事を始めて5年目を迎える今年、わたし
も、せんだい・みやぎNPOセンターと自分との関
わりを天秤にかけてみる時期なのかもしれない。

部会報告

■セナードサロン報告■

第67回

8月10日。今年特有の暑～い夏の日、セナードサロンはついに外へ飛び出しました！「地元料理・スローフードを通しての地域の食と農 in 名取～旬を喰らふ アウトドア・セナード 夏～」と題し、名取で農家を営む三浦隆弘さんの畑とおうちにお邪魔したのです。

まず、仙台ちゃ豆の収穫体験。「食べたい量をとりたい」という言葉に「なんて豊かな！」と感動したにも関わらず、うれしくて食べる量よりはるかに多く採ってしまったちゃ豆。さらに「仙台長なす」や「とうみぎ」も、じっくり育ったものを見極めて収穫。採った先からすぐ調理をしました。特にえだ豆やとうもろこしは「糖度」があり、採りたてであればあるほど甘味が出るとの三浦さんのお話のとおり、本当に甘くて美味しかった！

さて、本題のスローフードとは？三浦さん曰く「地域のもを地域で、そして、作った人や食べる人の顔が見える、そのつながりを感じることができるライフスタイル」とのこと。今回のセナードでは、本当にそれを体感しました。地域やつながりなど全てが「喰らふ」ときに、「味」として現れるのです。皆さんも地域を振り返って、スローフードに挑戦してみたいかがでしょうか？

(田中聡子)

●次回：「知りたい！病院ボランティアの仕事」
日時：10月2日（水）19時～20時30分
会場：仙台市市民活動サポートセンター
会費：500円

■PONPO-NET■

第15回 8/23

「現場に行ってみよう」ということになり実現したのが、長町一丁目にある福祉複合ビル「グッドライフ長町」とタウンモビリティの見学です。【実施日：7月22日/協力：C I L たすけっと・(株)ベネッセケア】

まずベネッセケアの方からビルの機能を伺った後、4～7階部分にある老人ホームを見学。続いて1階エレベーターホールに事務局を構えるタウンモビリティを見学。利用者にお話を伺うとともに、電動スクーターに試乗させていただきました。現場だからこそ得られた新たな発見、そして「グッドライフ長町」発の交流やつながりを実感することができました。

8月23日はアイセックに企画・進行係をお願いし「学校との協働イベント」をテーマに開催。10月にカナダから来る研修生が高校生対象に異文化理解の授業を行う予定で、現在企画立案中のアイセック。環境教育推進のため学校と市民・NPOの連携を図る活動をしている団体、PTAとして学校に関わった経験など、様々な立場からアイディアやアドバイスを申し合いました。議論点があげられていたので、小人数ながら中身の濃い議論となりました。

次回は10月下旬、アイセックの研修生を招いて開催する予定です。

(中津 涼子)

●次回：10月中旬 18時30分から
会場：東北NSソリューションズ(株) 会議室
会議室提供：東北NSソリューションズ(株)

講演報告：日本経団連 長沢恵美子さん

「企業がNPOを知ることは、社会の課題を知ること！」

4月から始動した「NPOへの人財サポートシステムの開発」プロジェクトの第1回目の企業ワーキングの講師として、(社)日本経団連の長沢恵美子さんを迎え、8月30日に講演会を実施しました。

企業がNPOとの連携事業を行ったり、社員のボランティア活動を支援する効果・成果とその背景などをわかりやすく解説していただきました。以下講演のポイントを報告します。

●企業の社会貢献活動の捉え方

「異なるもの・多様なものを受けとめられる組織づくり」「コーポレートブランドへの貢献」「社会的責任に対する会社と社員の感度を高める」

●社員のボランティア活動支援の効能

「多様なものや異なるものを受け入れる力がついた」「発想を形にするトレーニングになった」「共感で集まる人や資源のマネジメントを学んだ」「社外の人的ネットワークが広がった」「人生のダブルメジャーを考えたり実践する機会を得た」

●企業の社会貢献担当者の方へ

担当者ややる気のある社員が自分一人で進めるのではなく、いかに社内や社外に仲間を作っていくことができるかがポイント。社員のコーディネーターになり多くの人をつなぎ迅速に動く。社内と社外のリソースを繋ぐことから成果が生まれる。

NPOと企業の人財交流に関心がある方は事務局までご連絡ください。(遠藤智栄)

すぐに手帳に 赤○チェック! 10/31~11/2の3日間

天高く馬肥ゆる秋・・・NPOもイベントと講座の秋です。そこで当センターも、この秋「これは見逃せない!」企画をお届けします。しかも、魅力あふれる連続企画です。ぜひスケジュール帳にチェックしておいてください。

「NPOパワーアップフォーラム in 東北」

日程：10月31日(木)～11月1日(金)

注目のひとつめは、「NPOパワーアップフォーラム in東北」です。これは住友生命社会福祉事業団と日本NPOセンターの協力により、東北地域のNPOの、マネジメント能力向上のために講座を開催するものです。「ミッション」「計画」「人材」「資金」という重要テーマの4つの講座があります。本格的なマネジメント講座をお待ちいただいていた方には最適のプログラムです。

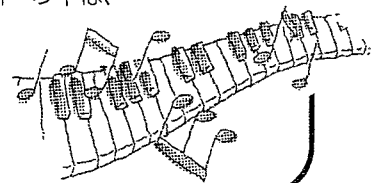
また、NPOの法制度と支援税制の改革のための大集会も、シーズの松原事務局長を迎えて開催を予定しています。東北各地の支援センターの交流と研修の事業も行います。

せんだい・みやぎNPOセンター 「5周年記念企画」

日程：11月1日(金)～2日(土)

当センターの設立5周年を記念したイベントです。こちらにもパワーあふれる企画が目白押し。コンセプトブックの出版、記念イベント「10年後の日本とNPOの役割」の開催、交流懇親会など、盛りだくさん。上野千鶴子さん、岡部一明さん、川北秀人さん、山岡義典さん、佐野章二さんなど多彩なゲストが駆けつけて(一部交渉中)、日本とNPOの未来について熱く語り合います。

なお、11月1日の記念イベントは、当センター会員の方は無料招待です。これは見逃せない!ですね。



BOOK

起業戦略

「ビジネスの生み方・育て方」

講談社現代新書 定価 680円(税別)

「¥マネーの虎」。聞いたことありますか?今までにないビジネスを展開したい人が、複数の投資家へ企画のプレゼンをし投資家が興味のある事業に投資をするという番組である。希望金額を投資されれば交渉成立。投資家(みんな年収〇〇億)の事業に対する質問攻めは、ビジネスに對する本気度が伝わり、最終的にシビアに合否を判断する眼力が見ごたえがある。

起業、アントレプレナー、コミュニティビジネスなど最近よく目にする。先の見えない時代だから「起業家精神」が求められる時代だと言つ。つい最近まではいい会社に入り、休みの日にはゴルフ、テニスに旅行、最後は退職金をもらってゆつくり老後……。そんな話も今は昔。前職は1年経てば給料は自然に上がった。そんな働き方をしていた自分が現在NPOで働いている。友人は「S元議員と喧嘩した団体?」「何ボランティア

アしているの!」と勝手なことを言い、毎度説明をするはめになり少々疲れ気味……。いろいろな資格を取得することも大切かもしれないが、自己雇用という言葉さえ聞かれるこの時代にすべきことは?。著者は「今の会社から何をしようとしているのか、また何をしようとしているのかを明確にする必要がある」と問い掛けている。起業家への準備からコンセプト作り、ニーズの探り方まで新規ビジネスで勝ち残るための最強の戦略が明記されている。雇われないで生きていくために必要不可欠な、「成功を勝ち取るためにすべきこと」がしっかりと分かる攻めの解説書(鳴かぬなら……で言えば豊臣秀吉型)である。

我が家の近くでもコンビニの出店競争が展開され競争社会の厳しさを改めて感じる。家族にやさしい、自分らしいスタイルを見つける旅はまだまだ続く。

(遠藤孝志)

■ 事務局活動報告 (6/21~9/8)

活動報告

■事務局/自主事業関連

- ・サポート資源提供システム運営委員会準備会 (第3回: 6/25)
- ・センター会議 (6/26 7/31 8/28)
- ・事業・運営会議 (第40回: 6/24 第41回: 7/9 第42回: 7/22 第43回: 8/5 第44回: 8/19 第45回: 9/3)
- ・仙台市市民活動サポートセンター全体ミーティング (7/3・10・17・24・8/7・21・9/4)
- ・事務局ミーティング (7/11・30・8/9・29)
- ・事業企画戦略会議 (第4回: 7/22 第5回: 8/12)
- ・理事会 (第37回: 7/25 第38回: 8/20 第39回: 9/8)
- ・セナードサロン「個人情報の保護と市民活動・NPO」【地元料理・スローフードを通しての地域の食と農 in 名取】(7/9・8/10 紅邑・遠藤・田中・中務)
- ・PONPO-NET「タウンモビリティについて」【国際交流の授業】(6/24・8/23 中津・松尾)
- ・NPOのための資金・人材調達術 (市民活動カラフルフェスタ参加企画) (7/4)
- ・NPO税制改正全国キャンペーン緊急報告会&説明会/協力シース、NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会 (7/10)
- ・サポート資源提供システム本格運用記念シンポジウム「NPOと企業のいい関係...」(7/16 加藤・紅邑・青木・遠藤・高田)
- ・NPOへの人材サポートシステム開発「第1回研究会」【企業におけるボランティア活動支援システムと社員のボランティア活動による企業メリットについて】(7/26 8/30 紅邑・遠藤)
- ・サポート資源提供システム運営委員会 (9/2)
- ・第4回通常総会 (9/8)
- ・総会記念セミナー「コミュニティ・ビジネスを活かしたまちづくり」(9/8)
- ・東北経済産業局委託事業会計監査 (7/3 加藤・紅邑)
- ・日本財団助成事業/みやぎNPO支援センターネットワーク会計監査 (7/12 紅邑・青木)
- ・日本財団助成事業/サポート資源提供システム会計監査 (9/5 加藤・遊佐)

■NPO/企業関連

- ・「仙台ブランドづくり運動」アイデアマン会議/主催: 仙台開府四百年記念事業推進協議会 (6/24・8/9 紅邑)
- ・(社)宮城県情報サービス産業協会/中古パソコンリユース支援事業連絡会 (6/26 8/20加藤・遠藤・高田)
- ・「NPOその本質と可能性」【NPOにとつての事業(活動)とは—もつ意味と、その課題—】/主催: 子ども劇場福岡県センター (6/22・23 加藤)
- ・片平たてもの応援団総会講演 (6/22 紅邑)
- ・日本財団NPO支援センター強化プログラム研修 (6/28・29・30 加藤・紅邑・門間)
- ・コミュニティビジネス&サービス講座/主催: 大学コンソーシアム京都 (6/29・30 加藤・紅邑)
- ・「認定NPO法人制度改革のためのアンケート調査」緊急説明会/主催: NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会 (7/1 加藤)
- ・多文化セミナー in 名古屋/主催: 日本財団 (7/7 加藤)
- ・「NPO支援センターとは何か?」/主催: 新潟NPO協会 (7/14 加藤)
- ・コミュニティ・ビジネス開発講座/主催: 仙台市中小企業支援センター (7/16・23・30・8/6 川村・針生・加藤・紅邑・遠藤)
- ・介護系NPO研究会/主催: (特)日本NPOセンター (7/17 加藤)
- ・地域カウンセラー養成講座 (7/19・20・21 加藤・紅邑・青木・遠藤・工藤)
- ・「地域版ボランティアパワーアップ研修」/主催: (社福)宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター (7/19・24・8/1・7・20・21 紅邑・遠藤・松尾)
- ・「プレゼンテーション・セミナー」/主催: 阪大フロンティア研究機構

- (8/9・10 加藤)
- ・全国ボランティアコーディネーター研究会2003第1回実行委員会 (8/17 紅邑)
- ・コミュニティ・ビジネス開発講座受講者相談会 (8/21 加藤・遠藤)
- ・都心居住研究会/仙台都市総合研究所 (8/21 紅邑)
- ・多文化セミナー in あいち/主催: 日本財団 (8/23・24・25 加藤)
- ・「NPO支援オフィスの役割」/主催: (特) いしのまきNPOセンター (8/24 松尾)
- ・「ファッションリーダー研修」/主催: 日本財団 (8/30・31 加藤)
- ・第1回民間NPO支援センター新人職員研修会/主催: (特)日本NPOセンター (9/6 中務・畠山)
- ・第1回民間NPO支援センター将来の展望を考える会/主催: (特)日本NPOセンター (9/6 紅邑)
- ・労金労組宮城県支部業研集会 (9/7 加藤)

■自治体関連

- ・市民活動カラフルフェスタボランティア相談会説明会 (6/25紅邑)
- ・アレマ会議/主催: 仙台市廃棄物管理課 (7/8紅邑)
- ・みやぎ地球市民すくすく計画2002/主催: 宮城県青少年課 (6/22・23 紅邑・田中)
- ・(特)宮城県断酒会開所式 (6/30 青木・高田)
- ・開館3周年記念仙台市市民活動サポートセンターまつり第2回市民活動カラフルフェスタ (7/3・4・5・6・7)
- ・カラフルフェスタ/NPOのための人材・資金調達講座 (7/4加藤・青木)
- ・オープニング企画「パートナーシップのたねあかし」(7/3加藤・紅邑)
- ・アレマ会議 (7/8 加藤・紅邑)
- ・地域NPO学会・みやぎNPOプラザ1周年記念フォーラム「NPOの自立と資金支援のあり方」/主催: 地域NPO学会・宮城県 (7/13 大滝・加藤)
- ・市民プロデューサー養成講座/主催: 宮城県環境生活部青少年課 (7/14・8/31 紅邑・田中)
- ・まち美化ネットワーク世話会 (7/25 紅邑)
- ・「行政とNPOの協働」/主催: 山梨県企画部県民生活課 (7/26 加藤)
- ・「NPOって何だべ」/主催: 東北経済産業局 (7/26 紅邑)
- ・「住民協働ワークショップ」/ (財)ふくしま自治研修センター (7/31・8/27 加藤)
- ・アレマ隊養成講座 (8/1 紅邑)
- ・「NPOと行政」/主催: (財)東北自治研修所 (8/1 加藤)
- ・全国ボランティア研究会山形県庄内集会まちづくり企画三町合同勉強会講師 (8/3 加藤)
- ・喜多方市ボランティア活動支援センター設立準備会スーパーバイザー (8/22 紅邑)
- ・まち美化タウンミーティング/主催: 仙台市環境局廃棄物管理課 (8/26 加藤・紅邑)
- ・宮城県NPO促進委員会 (8/29 紅邑)
- ・仙台市都市計画審議会 (8/30 紅邑)
- ・第17回地域づくり団体全国研修交流会宮城大会仙台地域B分科会パネラー (8/30 紅邑)
- ・「行政とNPOとのパートナーシップについて」/主催: 福島県教育委員会 (9/2 紅邑)
- ・仙台市職員研修所講師 (9/4 加藤)
- ・「市民活動と市民センターの新しい関係」/主催: (財)仙台ひと・まち交流財団 (9/5 紅邑・青木)

■相談、ヒアリング関連

- ・経営相談 (7/11・8/8 加藤・青木)
- ・相談 (7/4, 7/11, 7/11, 7/24, 8/8, 8/8, 8/21, 8/22)
- ・視察: 市政クラブ (8/8)
- ・ヒアリング: とよた市民活動センター (7/8)
- ・ヒアリング: (特)日本NPOセンター (7/27)

サポート・ご協力 ありがとうございます

★会員継続 ありがとうございます。(敬称略・50音順)

■平成13年度 (4件※うち匿名1件)
川村志厚、加藤哲夫、松山風土研究会

■平成14年度
●新会員 (7件)

アグリ・ウォッチャー・クラブ、ESTO、大平次雄、(特) 市民メディア・イコール、せんだい杜の子ども劇場21、高橋千代子、横山英子

●正会員個人 (31件)

愛知絢子、相澤耀司、出雲幸五郎、伊勢武彦、内海裕一、遠藤幸枝、川崎あや、岸田清実、菊澤調和、木幡勝幸、小島妙子、昆野武裕、高鷹厚、佐藤元吾、佐藤覚治、佐野章二、坂下康子、白川由利枝、田中秀穂、高橋賢二、高橋幸夫、野田一夫、長谷川公一、藤本岩男、藤原範典、紅邑晶子、三澤宏嘉、三好彰、遊佐さゆり、渡辺祥子、渡邊兼光

●正会員その他 (4件)

仙台都市総合研究機構、ハリウコミュニケーションズ、東日本放送、ユーメディア

●正会員NPO (17件)

AKK仙台、青森アップル会、(特) あかねグループ、(特) 茨城NPOセンター・コモンズ、角田市アジアの農民と手をつなぐ会、(特) グループゆう、子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ、(特) 市民フォーラム21・NPOセンター、仙台地方労働者福祉協議会、仙台ダルク、ソキウスせんだい、ちば市民活動・市民事業サポートクラブ、東北HIVコミュニケーションズ、東北マンション管理組合連合会、(特) 宮城県断酒会、杜の伝言板ゆるる、(特) ゆうあんどあい

●準会員 (41件※うち匿名4件)

赤須治郎、荒井勝子、市川力、伊藤寿朗、今田忠、遠藤啓介、遠藤邦昭、大泉太由子、岡崎トミ子、片平たてもの応援団、木村茂、木須八重子、国際福祉ネットみやぎ・21、(特) 住民互助福祉団体ささえ愛山元、(社) 仙台青年会議所、(社福) 仙台的のちの電話、仙台商工会議所、高橋一夫、千葉康弘、津志田達雄、中野勇也、南條成子、日本たばこ産業仙台原料本部(2口)、日本たばこ産業仙台支店(2口)、日本たばこコーポレートセンター(2口)、野澤タキ子、畠山俊樹、早坂毅(2口)、(有) 平野印刷(2口)、ふくしま地域づくりの会、舟山均、宮城県麗人会赤十字奉仕団、宮野学、(特) 麦の会、柳沼芳美、(特) 友愛さくら、(特) WACまごころサービスみやぎ

■ボランティアスタッフ (五十音順、敬称略)

葛西淳子、須藤達也、名取宏昭、細野泰志、本郷正武

■企業・団体協力 (五十音順、敬称略)

岡元タイル(事務局スペースを社会貢献価格にて)、東北NSソリューションズ(PONPO-NETの会議室提供)、富士ゼロックス(カラーコピー機を社会貢献価格にて)、ベネッセコーポレーション東北支社(会議室提供)

金1,3000円
NPO支援税制説明会にご参加の皆様より
シーズへのご寄付をいただきました。
御礼申し上げます。

ただ今、入会キャンペーンを実施中です！ ぜひ皆さんのお友達に当センターをご紹介ください！

せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F
tel 022-264-1281 fax 022-264-1209
E-mail minmin@minmin.org
http://www.minmin.org/



みんみん編集後記

■平田オリザ氏が主宰する劇団「青年団」の公演に行った。市民活動をめぐるこの芝居は、『ある、ある、ある』と何度も笑ったり、うなずくシーンがあり、平田氏にその旨伝えたら、NPOの方たちは皆さんそうおっしゃいますと、笑っていた。その中の平田氏のメッセージがまた、わたしたちNPOのメッセージと重なっていることも、この芝居の最大の魅力であった。(紅邑) ■ここのところふと、海を見たくることがあります。山にも行きたくります。もうすこし生活にゆとりがほしいものです。(工藤) ■最近「組織の活動に参画できているかの一つの目安は、関わる時間の長さではなく愛しそして愛されているかではないか」という言葉をいただいた。皆さんはどう考えますか。(遠藤) ●編集部にご感想をお待ちしております。